

目次

ダウンロード音声の利用法

序章 トレーニングの前に

第I部 理論編

第1章 アクセントとイントネーション

- 1.1 アクセントとイントネーションの重要性
- 1.2 アクセントとは
- 1.3 イントネーションとは
- 1.4 単語のアクセントとイントネーション
- 1.5 様々なアクセント型とイントネーション
- 1.6 文のアクセントとイントネーション
- 1.7 機能語の弱形

第2章 母音の発音

- 2.1 母音の学び方
- 2.2 母音の分類法
- 2.3 アメリカ英語の母音
- 2.4 様々な母音の区別

コラム

- 2.5 母音の発音表記のいろいろ

第3章 子音の発音

- 3.1 子音の学び方
- 3.2 子音の分類法
- 3.3 アメリカ英語の子音
- 3.4 有声破裂音 /b, d, g/
- 3.5 /t, d/ のたたき音への変化 (/t̚, d̚/)
- 3.6 歯擦音 /s, z, ʃ, ʒ, tʃ, dʒ/
- 3.7 破擦音となる子音連続 /tr, dr, str/
- 3.8 /f, v/ と /b/
- 3.9 /θ/ と /s, f/
- 3.10 /ð/ と /z, d, v/

- 3.11 鼻音/m, n/
- 3.12 /ŋ/ と /ŋg/
- 3.13 無声声門摩擦音 /h/
- 3.14 接近音 /j, w, r/
- 3.15 /r/ と /l/
- 3.16 子音連続中の /r/ と /l/
- 3.17 子音の発音表記のいろいろ

第II部 実践編

はじめに

第4章 短い平叙文の基本パターン

- 4.1 全ての内容語が第1 アクセント
- 4.2 途中の内容語が第2 アクセント

第5章 イントネーション句の区切り方

- 5.1 文頭の副詞的要素
 - 実質的に文頭と考えてよい例
- 5.2 従属節が前半にある場合
- 5.3 and で複数の文がつながれている場合
- 5.4 文末の従属節や前置詞句
- 5.5 文末や文中の挿入句など
- 5.6 主語が長い場合
 - 短い主語が独立したイントネーション句になる例
- 5.7 リスト
- 5.8 その他のイントネーション句の区切り

第6章 疑問文のイントネーション

- 6.1 Yes-no 疑問文と上昇調
 - 音調核が末尾にある場合
 - 音調核が早めに出てくる場合
 - 複数のイントネーション句にわたる場合
 - その他のパターンによる Yes-no 疑問文
 - Yes-no 疑問文を含むダイアログ
- 6.2 Wh 疑問文と下降調
 - Wh 疑問文を含むダイアログ
- 6.3 選択疑問文

6.4 付加疑問

第7章 良いリズムの作り方

7.1 リズム序説

7.2 交替リズム

7.3 部分的な交替リズム

7.4 下降上昇調アクセント+下降調による交替リズム

7.5 反復リズム

7.6 弱アクセントの連続を嫌った例

第8章 文アクセントの法則から外れるもの

8.1 時を表す副詞的要素が文末で音調核にならない例

➤ 時を表す副詞的要素が音調核になる例

8.2 その他、最後の内容語が音調核にならない例

8.3 内容語が第2 アクセントにとどまる例

8.4 機能語に第1 アクセントまたは音調核がある例

8.5 イントネーション句末尾の機能語が強くなる例

8.6 イントネーション句冒頭の機能語が強くなる例

第9章 文・単語の意味による音調の選択

第10章 注意すべき単語間のつながり

第11章 注意すべき単語の発音

第12章 パッセージを読もう

単語リスト

参考文献一覧

あとがき

ダウンロード音声について